



e-Education

年次報告書

2017

Mission

最高の授業を世界の果てまで届ける

e-Educationは、途上国の子どもたちへの教育支援を行うNGOです。

途上国には、満足な教育を受けることができず、夢を諦めてしまう子どもたちが大勢います。私たちは、彼らの夢を応援するために「最高の先生」の授業をDVDやタブレットにして届けています。



Vision

開発途上国における学習機会に恵まれない人々が、
夢や想いを実現し、自分に誇りを持って生きていけるようになる世界

途上国の農村部では、学校がない、先生が足りない、良質な授業を受けられない、といった課題があります。
映像授業を用いて、地理的、経済的な課題を乗り越えて良質な教育を届けることで、私たちのビジョンを作ります。



代表挨拶

2017年という年は団体にとって、そして私自身にとっても大きな変化のある1年でした。

「どうしたら途上国の若者がテロではなく未来へと向かうのか」

そんな問いを抱えながら、2017年5月に活動拠点をバングラデシュへ移しました。これまでe-Educationの授業を受けてきた元生徒たちと対話を重ね、彼らを含むバングラデシュの仲間たちと一緒に寝食を共にしました。

そこで見たものは絶望ではなく、希望です。社会課題から目をそらさず、今自分たちにできることを必死に考え、手足を動かし続ける彼らを見て、私たちが8年間続けてきた教育支援は間違っていなかったと確信を持つことができました。

バングラデシュだけではなく、フィリピン、ミャンマー、ネパールでも希望の声は増え続けています。JICAや民間企業との協働も始まり、これから更に社会を変えるスピードを上げていきます。

最後に、私たちの活動をいつも応援してくださる皆様へ心から感謝の気持ちを申し上げます。温かい応援の声をいただく度に勇気をもらっており、これからも皆様の想いを途上国の若者へ届けて参ります。

e-Education 代表理事 三輪 開人





バングラデシュ

開始時期	2010 年
累計生徒数	17,620 人
作成教材数	2,300 本

大学受験のその先へ！進化するバングラデシュの教育革命！

2016年のテロ事件は、一体どうしたら止められたのだろうか？そんな悩みの答えを探すために、2017年から代表・三輪はバングラデシュへ拠点を移しました。「答えは現場にある」と信じて、現地の大学生1,000人以上と対話を重ね、大学受験の先にも課題があることを発見しました。社会への不満や不安に負けず、現地の若者がテロではなく向かうように。そんな思いを込めて「インターン奨学金」制度が始まりました。「インターン奨学金」制度の対象者は、e-Educationの元生徒たち。経済的な理由で大学の学業に専念できない若者へ奨学金を提供し、その対価として地元や地方の子どもたちへの教育支援を行うようになりました。彼らのサポートもあり、8年連続でNo.1国立大学であるダッカ大学へ合格者を輩出。さらには受験支援にとどまらず、インターン生たちが自らロヒンギャ難民支援事業を立ち上げるなど、彼らは社会課題を解決するリーダーへと成長していきました。受験勉強のその先へ、バングラデシュの教育革命は、これから次のステージへと進んでいきます。

フィリピン

開始時期 2012 年

累計生徒数 1,544 人

作成教材数 158 本



映像授業とオフラインのハイブリッドの支援をスタート！

中退してしまった生徒が再び通う学校、オープンハイスクール（以下OHSP）で支援を初めて5年が経ちました。ご支援いただく皆様のおかげで現地教育局をはじめ、現地の方からたくさんの応援をいただいています。OHSPでは従来の映像授業型に加え、現地の大学生がOHSPで生徒にオフラインで授業の補助を行う「チュータープログラム」を開始しました。映像授業だけでなく、身近な地元の大学生が勉強をサポートしてくれることで生徒の勉強のモチベーションになり、生徒がより勉強に前向きな環境を作れるようになりました。また、映像授業の作成に関しては、e-Educationだけでなく日本の教科書会社と協働することによって、より質の高いコンテンツの作成が出来るようになり、2021年にフィリピン全土に広げられるよう現在コンテンツ開発を進めています。



ミャンマー

開始時期 2013 年

累計生徒数 799 人

作成教材数 434 本

地方政府と連携、最果ての地、公立校での授業がついにスタート！

2013年にミャンマーの国全体の平均合格率が30%しかないといわれる高校卒業試験（通称“セーダン試験”）合格に向けた支援を開始してから4年。これまでミャンマー各地で支援活動を行い、140人の生徒のセーダン試験合格を実現してきました。

2017年度の大きな成果はミャンマーでもっとも貧しいと言われるチン州公立校での事業スタートです。これまで学校教育以外の場での教育支援を行ってきましたが、その成果が認められ、チン州教育局と連携をし、公立学校の学習環境改善に取り組めることが出来るようになりました。

「これまで生徒にどうやって教えていいか自信がなかったけれど、映像授業を自分で見えるようになって、教え方に確証が持てるようになった」。提供している映像授業がこれまでの生徒の学習支援のみならず、「学校の先生支援」にも効果があることを実感することが出来ました。2018年度も公立校での実績を積み重ねるとともに、チン州政府との関係を更に強め、チン州全体にプロジェクト展開が出来るように取り組んで参ります。

ネパール

開始時期 2015 年

累計生徒数 390 人

作成教材数 151 本



教師が使用することを前提とした映像教材が完成し、いざ他地域への普及活動へ！

これまでの活動の成果が実り、JICAの草の根技術協力事業（支援型）に採択されました。2017年度は、授業時間の中で、「教師が活用しやすい映像教材」の作成と編集を行い、より一層の力を入れました。現地カウンターパートナーであるKids of Kathmandu、ベテラン教師、映像教材編集チームなど10名を超える多彩なメンバーと協力しながら、映像教材の構成を考え、制作を行いました。制作した映像教材を教師が授業内で活用する様子をモニタリングすることに時間を注ぎました。映像を授業でただ再生するのではなく、一時停止して質問を投げかけたり、重要事項は前のチャプターに戻る等、「再生」ではなく「活用」するようになりました。今後は、映像教材を活用した授業モデルを作り上げ、教育省を巻き込んだ教員研修を通してそのモデルを他地域へと展開していくことを目指します。

加えて、活動地を巡るフィールドワークプログラムを京都外国語大学と連携して開催したり、現地と日本の高校をインターネットで繋いだWeb交流プログラムを行ったりと、新たな企画にも挑戦しました。

Total Count

これまでe-Educationが届けてきたもの

活動年数

8 年

作成した教材数

3,043 本

累計生徒数

20,353 人

国数

14 か国

Activities in Japan

2017年度にe-Educationが行ってきた国内の活動

講演会

10回

イベント

19回

メディア本数

3本



Accounting Report

経常収益

受取寄付金	3,926,039円
受取助成金	4,926,000円
事業収益	58,628,629円
その他収益	112,144円
合計	67,592,812円

経常費用

事業費	人件費	21,282,783円
	その他経費	36,686,962円
管理費	人件費	6,178,238円
	その他経費	3,699,329円
合計		67,847,312円

税引き前当期正味財産増減額

△550,739円

法人税、住民税及び事業税

1,005,200円

当期正味財産増減額

△1,555,939円

前期繰越正味財産増減額

△1,916,190円

次期正味財産増減額

△3,472,129円



特定非営利活動法人 e-Education

〒101-0031

東京都千代田区東神田1-2-8 赤塚ビル2階

E-Mail info@eedu.jp

HP <http://eedu.jp>

Blog <http://eedu.jp/blog>